

大学番号：国026

注3

[平成27年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

東京農工大学大学院 生物システム応用科学府

食料エネルギーシステム科学専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東京農工大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 法規係長 ヨシカワトオル
吉川徹

電話番号 042-367-5505

（夜間） 042-367-5505

F A X 042-367-5553

e-mail houki@ml.tuat.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生物システム応用科学府

＜食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	39

＜別添資料＞

資料1 東京農工大学グローバル教育院運営規則	42
------------------------	----

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 東京農工大学

(2) 大学名

東京農工大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒184-8588：東京都小金井市中町二丁目24番16号
(〒183-8538：東京都府中市晴見町三丁目8番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツナガ タダシ) 松永 是 (平成23年4月)	(オオノ ヒロユキ) 大野 弘幸 (平成29年4月)	任期満了による学長の交代のため(29)
・ 学府長	(カミヤ ヒデヒロ) 神谷 秀博 (平成25年4月)	(アキサワ アツシ) 秋澤 淳 (平成31年4月)	任期満了による学府長の交代のため(元)
専攻長	(サトウ リョウイチ) 佐藤 令一 (平成27年4月)	(トヨダ コウキ) 豊田 剛己 (平成31年4月)	任期満了による専攻長の交代のため(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻 (一貫制博士課程) 博士(農学) 博士(工学) 博士(学術)	農学関係 工学関係	5年	10人	年次人	50人	基礎となる学部等 農学部 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	10 (-) [-]	人	10 (-) [-]	人	10 (-) [-]	人	10 (-) [-]	人	10 (-) [-]	人	10 (-) [-]	人	1.20倍	-	平成29年度3年次編入学4人
志願者数	18 (-) [7]	1 (-) [1]	17 (-) [6]	2 (-) [2]	18 (4) [6]	0 (-) [-]	10 (-) [4]	1 (-) [1]	15 (-) [8]						
受験者数	18 (-) [7]	1 (-) [1]	17 (-) [6]	2 (-) [2]	18 (4) [6]	0 (-) [-]	10 (-) [4]	1 (-) [1]	14 (-) [7]						
合格者数	11 (-) [2]	0 (-) [-]	13 (-) [2]	0 (-) [0]	16 (4) [4]	0 (-) [-]	9 (-) [3]	1 (-) [1]	12 (-) [6]						
B 入学者数	10 (-) [2]	0 (-) [-]	13 (-) [2]	0 (-) [0]	16 (4) [4]	0 (-) [-]	9 (-) [3]	1 (-) [1]	11 (-) [6]						
入学定員超過率 B/A	1.00		1.30		1.60		1.00		1.10						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	10 [2] (-)	0 [-] (-)	14 [2] (1)	[] ()	12 [3] (-)	[] ()	9 [3] (-)	1 [1] (-)	11 [7]	1 [1] (-)				
2年次	/		9 [2] (-)	[] ()	13 [2] (-)	[] ()	13 [3] (-)	[] ()	9 [3] (-)	[] ()			平成30年度 2年次転専攻2人	
3年次			/		/		13 [3] (-)	[] ()	11 [2] (-)	[] ()	13 [3] (-)	[] ()		
4年次							/		/		/			11 [3] (-)
5年次			/		/									/
計							10 [2] (-)	23 [4] (1)	38 [8] (-)	45 [12] (-)	53 [18] (-)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	10人	0人	平成27年度	0人	0人	
平成28年度	23人	1人	平成27年度	1人	0人	進路変更のため(1人)
			平成28年度	0人	0人	
平成29年度	38人	5人	平成27年度	1人	0人	転専攻(1人)
			平成28年度	2人	0人	転専攻(1人)
			平成29年度	2人	0人	除籍(1人)、進路変更のため(1人)
平成30年度	45人	3人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	2人	1人	職務多忙のため(1人)、進路変更のため(1人)
			平成29年度	1人	0人	就職のため(1人)
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	53人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		9人		9人	1人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{23} = \boxed{4.34} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{38} = \boxed{13.15} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{45} = \boxed{6.66} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{53} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎専門科目	物質エネルギーシステム特論I	1-2③		1		1						
	物質エネルギーシステム特論II	1-2④		1		1						
	物質エネルギー設計特論I	1-2①		1			1					
	物質エネルギー設計特論II	1-2②		1			1					
	エネルギーシステム解析特論I	1-2③		1		1						
	エネルギーシステム解析特論II	1-2④		1		1						
	生物情報計測システム特論I	1-2①		1			1					
	生物情報計測システム特論II	1-2②		1			1					
	生態系型環境システム特論I	1-2③		1		1						
	生態系型環境システム特論II	1-2④		1		1						
	生物応答制御科学特論I	1-2①		1			1					
	生物応答制御科学特論II	1-2②		1			1					
	食料安全科学特論I	1-2③		1		1						
	食料安全科学特論II	1-2④		1		1						
	環境モニタリングシステム特論I	1-2①		1			1					
	環境モニタリングシステム特論II	1-2②		1			1					
食料エネルギーシステム農学基礎I	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム農学基礎II	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎I	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎II	1-2①~④		1								兼1	
小計(20科目)		-	0	20	0	8	8	0	0	0	4	
基礎専門科目	環境経済学I	1-2-3①~②		2								兼1
	環境経済学II	1-2-3①~②		2								兼1
	環境経営学	1-2-3①~②		2								兼1
	環境政策と参加	1-2-3①~②		2								兼1
	環境政策論	1-2-3①~②		2								兼1
	CSR経営論	1-2-3①~②		2								兼1
	産業廃棄物処理	1-2-3①~②		2								兼1
	環境社会学	1-2-3①~②		2								兼1
	環境倫理	1-2-3①~②		2								兼1
	環境教育	1-2-3①~②		2								兼1
	地球環境工学論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境史	1-2-3①~②		2								兼1
	カーボンマネジメント論	1-2-3①~②		2								兼1
	国際環境法I	1-2-3①~②		2								兼1
	環境マーケティング論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境ビジネス論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境金融論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境計画・リスクマネジメント論	1-2-3①~②		2								兼1
	International Comparative Studies for Environmental Japanese Experiences in Environmental Management	1-2-3①~②		2								兼1
	International Environmental Treaties	1-2-3①~②		2								兼1
	Environmental Law	1-2-3①~②		2								兼1
	Environmental Assessment	1-2-3①~②		2								兼1
	Integrative Environmental Policy	1-2-3①~②		2								兼1
	Ocean and Environment	1-2-3①~②		2								兼1
	Marine Environmental Policy	1-2-3①~②		2								兼1
	Business Strategies for Sustainability	1-2-3①~②		2								兼1
	Environmental Resource Management Policy	1-2-3①~②		2								兼1
	環境法II	1-2-3③~④		2								兼1
	森林環境政策	1-2-3③~④		2								兼1
	環境・エネルギー技術論	1-2-3③~④		2								兼1
	サステナビリティと金融	1-2-3③~④		2								兼1
	循環型社会政策論	1-2-3③~④		2								兼1
	地球温暖化対策論	1-2-3③~④		2								兼1
	エネルギーと環境	1-2-3③~④		2								兼1
環境と消費	1-2-3③~④		2								兼1	
環境研究のフロンティア	1-2-3③~④		2								兼1	
移動現象と環境	1-2-3③~④		2								兼1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎専門科目	物質エネルギーシステム特論I	1-2③		1		1						
	物質エネルギーシステム特論II	1-2④		1		1						
	物質エネルギー設計特論I	1-2①		1			1					
	物質エネルギー設計特論II	1-2②		1			1					
	エネルギーシステム解析特論I	1-2③		1		1						
	エネルギーシステム解析特論II	1-2④		1		1						
	生物情報計測システム特論I	1-2①		1			1					
	生物情報計測システム特論II	1-2②		1			1					
	生態系型環境システム特論I	1-2③		1		1						
	生態系型環境システム特論II	1-2④		1		1						
	生物応答制御科学特論I	1-2①		1			1					
	生物応答制御科学特論II	1-2②		1			1					
	食料安全科学特論I	1-2③		1		1						
	食料安全科学特論II	1-2④		1		1						
	環境モニタリングシステム特論I	1-2①		1			1			1		
	環境モニタリングシステム特論II	1-2②		1			1			1		
食料エネルギーシステム農学基礎I	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム農学基礎II	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム農学基礎III	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム農学基礎IV	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎I	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎II	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎III	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎IV	1-2①~④		1								兼1	
小計(24科目)		-	0	24	0	14	2	0	0	0	8	
基礎専門科目	上智大学大学院地球環境研究科開放科目I	1-2-3①~④		2								兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目II	1-2-3①~④		2								兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目III	1-2-3①~④		2								兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目IV	1-2-3①~④		2								兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目V	1-2-3①~④		2								兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目VI	1-2-3①~④		2								兼30
	国際文化比較論及び日本語表現特論I	1-2-3①		1								兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論II	1-2-3②		1								兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論III	1-2-3③		1								兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論IV	1-2-3④		1								兼1
	日本語と日本の文化概論I	1-2-3①		1								兼1
	日本語と日本の文化概論II	1-2-3②		1								兼1
	芸術表現	2-3①~④		1				1				
	異文化交流特論I	1-2①		1								兼1
	異文化交流特論II	1-2②		1								兼1
	科学英語リーディング特論I	1-2①		1								兼1
科学英語リーディング特論II	1-2②		1								兼1	
英文ライティング・研究倫理	3-4①~④		2								兼1	
物質界面プロセス特論I	3-4-5③		1			1						
物質界面プロセス特論II	3-4-5④		1			1						
物質エネルギー材料設計特論I	3-4-5①		1			1						
物質エネルギー材料設計特論II	3-4-5②		1			1						
環境エネルギーシステム特論I	3-4-5③		1			1						
環境エネルギーシステム特論II	3-4-5④		1			1						
生物相互作用システム特論I	3-4-5①		1			1						
生物相互作用システム特論II	3-4-5②		1			1						
土壌生態系機能解析特論I	3-4-5③		1			1						
土壌生態系機能解析特論II	3-4-5④		1			1						
生物資源循環制御特論I	3-4-5①		1			1					兼1	
生物資源循環制御特論II	3-4-5②		1			1					兼1	
バイオセンシング特論I	3-4-5③		1			1						
バイオセンシング特論II	3-4-5④		1			1						
環境分子動態学特論I	3-4-5①		1						1			
環境分子動態学特論II	3-4-5②		1						1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	化学物質と環境	1-2-3 ③~④		2								兼1
	国際環境法Ⅱ	1-2-3 ③~④		2								兼1
	環境ジャーナリズム論	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Global Environmental Policy	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Environment and Sustainable Lifestyles	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Introduction to Environmental Accounting	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Environmental Science and Technology	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Environmental Economics	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Environment and Development in Developing Countries	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Environmental Planning	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Global Forest Conservation Policy	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Environmental History	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Strategic Environmental Management	1-2-3 ③~④		2								兼1
	Sustainable Communities/Projects and Policies	1-2-3 ③~④		2								兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅰ	1-2-3①		1								兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅱ	1-2-3②		1								兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅲ	1-2-3③		1								兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅳ	1-2-3④		1								兼1
	日本語と日本の文化概論Ⅰ	1-2-3③		1								兼1
	日本語と日本の文化概論Ⅱ	1-2-3④		1								兼1
	Artistic Impression/Expression	2-3-4-5 ①~④		1								兼1
	異文化交流特論Ⅰ	1-2①		1								兼1
	異文化交流特論Ⅱ	1-2②		1								兼1
	科学英語リーディング特論Ⅰ	1-2③		1								兼1
	科学英語リーディング特論Ⅱ	1-2④		1								兼1
	English Writing and Ethics	2①~②		1								兼1
	物質界面プロセス特論	3-4-5③		1		1						
	物質エネルギー材料設計特論	3-4-5①		1			1					
	環境エネルギーシステム特論	3-4-5③		1		1						
	生物相互作用システム特論	3-4-5①		1		1						
	土壌生態系機能解析特論	3-4-5③		1		1						
	生物資源循環制御特論	3-4-5①		1			1					
バイオセンシング特論	3-4-5③		1			1						
環境分子動態学特論	3-4-5①		1			1						
小計(72科目)		-	0	124	0	4	4	0	0	0	0	64
キャリア開発プログラム	キャリア開発プログラムⅠ	1①~②	2									兼1
	キャリア開発プログラムⅡ	1①~②	2									兼1
	キャリア展開プログラムⅠ	1③~④		1								兼1
	キャリア展開プログラムⅡ	2①~②		1								兼1
	キャリア展開プログラムⅢ	2③~④		1								兼1
	小計(5科目)		-	4	3	0	0	0	0	0	0	5
	実践型インターンシップ(企業連携)	1-2-3 3-4-5 ①~④		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	食料エネルギーシステム農学特論Ⅰ	3-4-5 ①~④		1								兼1
	食料エネルギーシステム農学特論Ⅱ	3-4-5 ①~④		1								兼1
	食料エネルギーシステム工学特論Ⅰ	3-4-5 ①~④		1								兼1
	食料エネルギーシステム工学特論Ⅱ	3-4-5 ①~④		1								兼1
	小計(38科目)		-	0	45	0	15	2	0	0	0	0
キャリア開発プログラム	キャリア開発プログラムⅠ	1①	1									兼1
	キャリア開発プログラムⅡ	1①	1			1						
	キャリア開発プログラムⅢ	1②	1				1					
	キャリア開発プログラムⅣ	1②	1				1					
	キャリア展開プログラムⅠ	1③~④		1		1						
	キャリア展開プログラムⅡ	2①~②		1		1						
	キャリア展開プログラムⅢ	2③~④		1		1						
小計(7科目)		-	4	3	0	5	1	0	0	0	6	
社会交流科目	実践型インターンシップ(企業連携)	1-2-3 3-4-5 ①~④		2			1					
	企業共同研究	3-4-5 ①~④		2								兼1
	国際インターンシップ特論事前学習	1③~④ 2③~④		1			1					
	国際インターンシップ実習Ⅰ	1③~④ 2③~④		1			1					
	国際インターンシップ実習Ⅱ	1③~④ 2③~④		1			1					
	国際インターンシップ特論事後学習	1③~④ 2③~④		1			1					
	政策提言Ⅰ	3-4-5 ①~④		1			1					
	政策提言Ⅱ	3-4-5 ①~④		1			1					
	小計(8科目)		-	0	10	0	2	5	0	0	0	1
	研究指導	研究指導A	1①~④ 1③~④	2				7	1			
研究指導B		1④ 2①~②	2									兼10
研究指導C		2①~④	2									兼10
小計(3科目)			-	6	0	0	7	1	0	0	0	22
セミナー・成果発表	研究成果発表Ⅰ	1①~②	1				7	1				兼2
	研究成果発表Ⅱ	1③~④	1				7	1				兼2
	研究成果発表Ⅲ	2①~②	1				7	1				兼2
	研究成果発表Ⅳ	2③~④	1				7	1				兼2
	実践的英語研究成果発表Ⅰ	3④	2				7	1				兼2
	実践的英語研究成果発表Ⅱ	4④	2				7	1				兼2
	小計(5科目)		-	8	0	0	42	6	0	0	0	12
専門科目	グリーンクリーン食料生産特論Ⅰ	3-4-5 ①~④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅱ	3-4-5 ①~④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅲ	3-4-5 ①~④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅳ	3-4-5 ①~④		2								兼1
	海外研究留学Ⅰ	3-4-5 ①~④		2								兼1
	海外研究留学Ⅱ	4-5① ②~④		2								兼1
	海外研究留学Ⅲ	4-5① ②~④		2								兼1
	海外研究留学Ⅳ	4-5① ②~④		2								兼1
小計(8科目)		-	0	16	0	0	0	0	0	0	8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会交流科目	企業共同研究	3・4・5 ①～④		2								兼1
	国際インターンシップ特論事前学習	1③～④、 2・3・④、 1③～④		1								兼1
	国際インターンシップ実習Ⅰ	④、 2・3・④、 1③～④		1								兼1
	国際インターンシップ実習Ⅱ	④、 2・3・④、 1③～④		1								兼1
	国際インターンシップ特論事後学習	④、 2・3・④、 1③～④		1								兼1
	政策提言	3・4・5 ①～④		2								兼1
	小計(7科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	7
研究指導	研究指導A	1①～④	2			4	4					兼2
	研究指導B	1③～④、 2①～②	2									兼10
	研究指導C	2①～④	2									兼10
	小計(3科目)	-	6	0	0	4	4	0	0	0	0	22
セミナー・成果発表	研究成果発表Ⅰ	1①～②	1			4	4					兼2
	研究成果発表Ⅱ	1③～④	1			4	4					兼2
	研究成果発表Ⅲ	2①～②	1			4	4					兼2
	研究成果発表Ⅳ	2③～④	1			4	4					兼2
	実践的英語研究成果発表Ⅰ	3③～④	2			4	4					兼2
	実践的英語研究成果発表Ⅱ	4③～④	2			4	4					兼2
	小計(6科目)	-	8	0	0	24	24	0	0	0	0	12
専門科目	グリーンクリーン食料生産特論Ⅰ	3・4・5 ①～④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅱ	3・4・5 ①～④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅲ	3・4・5 ①～④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅳ	3・4・5 ①～④		2								兼1
	海外研究留学Ⅰ	3・4・5 ①～④		1								兼1
	海外研究留学Ⅱ	3・4・5 ①～④		1								兼1
	海外研究留学Ⅲ	3③～④、 4・5①		1								兼1
	海外研究留学Ⅳ	4③～④、 4・5①		1								兼1
	小計(8科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	0	8
イノベーション科目	イノベーション推進特別講義Ⅰ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅲ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3・4・5 ③～④		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅴ	3・4・5 ③～④		1								兼1
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
国際科目	実践的英語プレゼンテーションⅠ	1③～④	1			4	4					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅡ	2③～④	1			4	4					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅢ	1・2・③、 3・4・5 ①～④	1			4	4					兼2
	国際交流ワークショップ	3・4・5 ①～④	2									兼1
	国際ディベート演習	1・2・③、 3・4・5 ③～④	1									兼1
	国際コミュニケーション演習	3・4・5 ①～②	1									兼1
	小計(6科目)	-	2	5	0	12	12	0	0	0	0	9
合計(132科目)	-	20	179	0	52	52	0	0	0	0	136	
修了要件及び履修方法												
5年以上在学し、必修科目20単位、基礎専門科目から6単位以上、基盤科目から6単位以上、社会交流科目から4単位以上、専門科目から4単位以上、イノベーション科目から4単位以上、国際科目から2単位以上、あわせて54単位以上を修得し、かつ、Qualifying Examination 2に合格した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、進級過程の厳格化と質保障を担保するため、2年次末に32単位以上修得した者に対して、Qualifying Examination 1を実施する。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
イノベーション科目	イノベーション推進特別講義Ⅰ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅲ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3・4・5 ③～④		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅴ	3・4・5 ③～④		1								兼1
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
国際科目	実践的英語プレゼンテーションⅠ	1④	1			7	1					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅡ	2④	1			7	1					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅢ	1・2・③、 3・4・5 ①～④	1			7	1					兼2
	国際交流ワークショップ	1①～④	2									兼1
	国際ディベート演習	1・2・③、 3・4・5 ③～④	1									兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅰ	3・4・5 ①～②	4			1						兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅱ	3・4・5 ①～②	4			1						兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅲ	3・4・5 ①～②	1			1						兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅳ	3・4・5 ①～②	1			1						兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅴ	3・4・5 ①～②	1			1						兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅵ	3・4・5 ①～②	1			1						兼1
小計(11科目)	-	2	16	0	27	3	0	0	0	0	8	
合計(102科目)	-	7	22	0	112	20	0	0	0	0	266	
修了要件及び履修方法												
標準年限以上在学し、基礎専門科目から6単位以上、基盤科目から6単位以上、キャリア開発プログラムから4単位以上、社会交流科目から4単位以上、研究指導6単位、セミナー・成果発表8単位、専門科目から4単位以上、イノベーション科目から4単位以上、国際科目から4単位以上、あわせて54単位以上を修得し、かつ、Qualifying Examination 2に合格した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、進級過程の厳格化と質保障を担保するため、2年次末に32単位以上修得した者に対して、Qualifying Examination 1を実施する。												

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎専門科目	物質エネルギーシステム特論I	1-2③		1		1						
	物質エネルギーシステム特論II	1-2④		1		1						
	物質エネルギー設計特論I	1-2①		1			1					
	物質エネルギー設計特論II	1-2②		1			1					
	エネルギーシステム解析特論I	1-2③		1		1						
	エネルギーシステム解析特論II	1-2④		1		1						
	生物情報計測システム特論I	1-2①		1			1					
	生物情報計測システム特論II	1-2②		1			1					
	生態系型環境システム特論I	1-2③		1		1						
	生態系型環境システム特論II	1-2④		1		1						
	生物応答制御科学特論I	1-2①		1			1					
	生物応答制御科学特論II	1-2②		1			1					
	食料安全科学特論I	1-2③		1		1						
	食料安全科学特論II	1-2④		1		1						
	環境モニタリングシステム特論I	1-2①		1			1					
	環境モニタリングシステム特論II	1-2②		1			1					
	食料エネルギーシステム農学基礎I	1-2①~④		1								兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎II	1-2①~④		1								兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎III	1-2①~④		1								兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎IV	1-2①~④		1								兼1
食料エネルギーシステム工学基礎I	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎II	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎III	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎IV	1-2①~④		1								兼1	
小計(24科目)		-	0	24	0	8	8	0	0	0	8	
上智大学大学院地球環境研究科開放科目 基礎科目	環境経済学 I	1-2-3①~②		2								兼1
	環境経済学 II	1-2-3③~④		2								兼1
	環境経営学	1-2-3①~②		2								兼1
	環境政策と参加	1-2-3①~②		2								兼1
	環境政策論	1-2-3①~②		2								兼1
	CSR経営論	1-2-3①~②		2								兼1
	産業廃棄物処理	1-2-3①~②		2								兼1
	環境社会学	1-2-3①~②		2								兼1
	環境倫理	1-2-3①~②		2								兼1
	環境教育	1-2-3①~②		2								兼1
	地球環境工学論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境史	1-2-3①~②		2								兼1
	カーボンマネジメント論	1-2-3①~②		2								兼1
	国際環境法 I	1-2-3①~②		2								兼1
	環境マーケティング論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境ビジネス論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境金融論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境計画・リスクマネジメント論	1-2-3①~②		2								兼1
	International Comparative Studies for Environmental Policies	1-2-3①~②		2								兼1
	Japanese Experiences in Environmental Management	1-2-3①~②		2								兼1
	International Environmental Treaties	1-2-3①~②		2								兼1
	Environmental Law	1-2-3①~②		2								兼1
	Environmental Assessment	1-2-3①~②		2								兼1
	Integrative Environmental Policy	1-2-3①~②		2								兼1
	Ocean and Environment	1-2-3①~②		2								兼1
	Marine Environmental Policy	1-2-3①~②		2								兼1
	Business Strategies for Sustainability	1-2-3①~②		2								兼1
	Environmental Resource Management Policy	1-2-3①~②		2								兼1
	環境法 II	1-2-3③~④		2								兼1
	森林環境政策	1-2-3③~④		2								兼1
環境・エネルギー技術論	1-2-3③~④		2								兼1	
サステナビリティと金融	1-2-3③~④		2								兼1	
循環型社会政策論	1-2-3③~④		2								兼1	
地球温暖化対策論	1-2-3③~④		2								兼1	

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎専門科目	物質エネルギーシステム特論I	1-2③		1		1						
	物質エネルギーシステム特論II	1-2④		1		1						
	物質エネルギー設計特論I	1-2①		1			1					
	物質エネルギー設計特論II	1-2②		1			1					
	エネルギーシステム解析特論I	1-2③		1		1						
	エネルギーシステム解析特論II	1-2④		1		1						
	生物情報計測システム特論I	1-2①		1			1					
	生物情報計測システム特論II	1-2②		1			1					
	生態系型環境システム特論I	1-2③		1		1						
	生態系型環境システム特論II	1-2④		1		1						
	生物応答制御科学特論I	1-2①		1			1					
	生物応答制御科学特論II	1-2②		1			1					
	食料安全科学特論I	1-2③		1		1						
	食料安全科学特論II	1-2④		1		1						
	環境モニタリングシステム特論I	1-2①		1			1					
	環境モニタリングシステム特論II	1-2②		1			1					
	食料エネルギーシステム農学基礎I	1-2①~④		1								兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎II	1-2①~④		1								兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎III	1-2①~④		1								兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎IV	1-2①~④		1								兼1
食料エネルギーシステム工学基礎I	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎II	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎III	1-2①~④		1								兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎IV	1-2①~④		1								兼1	
小計(24科目)		-	0	24	0	8	8	0	0	0	8	
上智大学大学院地球環境研究科開放科目 基礎科目	環境経済学 I	1-2-3①~②		2								兼1
	環境経済学 II	1-2-3③~④		2								兼1
	環境経営学	1-2-3①~②		2								兼1
	環境政策と参加	1-2-3①~②		2								兼1
	環境政策論	1-2-3①~②		2								兼1
	CSR経営論	1-2-3①~②		2								兼1
	産業廃棄物処理	1-2-3①~②		2								兼1
	環境社会学	1-2-3①~②		2								兼1
	環境倫理	1-2-3①~②		2								兼1
	環境教育	1-2-3①~②		2								兼1
	地球環境工学論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境史	1-2-3①~②		2								兼1
	カーボンマネジメント論	1-2-3①~②		2								兼1
	国際環境法 I	1-2-3①~②		2								兼1
	環境マーケティング論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境ビジネス論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境金融論	1-2-3①~②		2								兼1
	環境計画・リスクマネジメント論	1-2-3①~②		2								兼1
	International Comparative Studies for Environmental Policies	1-2-3①~②		2								兼1
	Japanese Experiences in Environmental Management	1-2-3①~②		2								兼1
	International Environmental Treaties	1-2-3①~②		2								兼1
	Environmental Law	1-2-3①~②		2								兼1
	Environmental Assessment	1-2-3①~②		2								兼1
	Integrative Environmental Policy	1-2-3①~②		2								兼1
	Ocean and Environment	1-2-3①~②		2								兼1
	Marine Environmental Policy	1-2-3①~②		2								兼1
	Business Strategies for Sustainability	1-2-3①~②		2								兼1
	Environmental Resource Management Policy	1-2-3①~②		2								兼1
	環境法 II	1-2-3③~④		2								兼1
	森林環境政策	1-2-3③~④		2								兼1
環境・エネルギー技術論	1-2-3③~④		2								兼1	
サステナビリティと金融	1-2-3③~④		2								兼1	
循環型社会政策論	1-2-3③~④		2								兼1	
地球温暖化対策論	1-2-3③~④		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	エネルギーと環境	1-2-3 ③~④		2							兼1
	環境と消費	1-2-3 ③~④		2							兼1
	環境研究のフロンティア	1-2-3 ③~④		2							兼1
	移動現象と環境	1-2-3 ③~④		2							兼1
	化学物質と環境	1-2-3 ③~④		2							兼1
	国際環境法Ⅱ	1-2-3 ③~④		2							兼1
	環境ジャーナリズム論	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Global Environmental Policy	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environment and Sustainable Lifestyles	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Introduction to Environmental Accounting	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Environmental Science and Technology	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environmental Economics	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environment and Development in Developing Countries	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environmental Planning	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Global Forest Conservation Policy	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environmental History	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Strategic Environmental Management	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Sustainable Communities/Projects and Policies	1-2-3 ③~④		2							兼1
	日本の環境法	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境マーケティング	1-2-3 ①~②		2							兼1
	持続可能社会政策論	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境政策形成論	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境と経済制度	1-2-3 ①~②		2							兼1
	生物と環境	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Green Marketing	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Japanese Environmental Law	1-2-3 ①~②		2							兼1
	CSR経営	1-2-3 ③~④		2							兼1
	環境リスクマネジメント	1-2-3 ③~④		2							兼1
	国際環境法	1-2-3 ③~④		2							兼1
	環境工学	1-2-3 ③~④		2							兼1
	途上国の環境と開発	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environment and Supply Chain Management	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Recycling Systems in Asia	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Global Environment Outlook	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Energy and Environmental Technology	1-2-3 ③~④		2							兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅰ	1-2-3①		1							兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅱ	1-2-3②		1							兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論ⅡⅠ	1-2-3③		1							兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅳ	1-2-3④		1							兼1
	日本語と日本の文化概論Ⅰ	1-2-3③		1							兼1
	日本語と日本の文化概論Ⅱ	1-2-3④		1							兼1
	Artistic Impression/Expression	2-3 ①~④		1							兼1
	異文化交流特論Ⅰ	1-2①		1							兼1
	異文化交流特論Ⅱ	1-2②		1							兼1
	科学英語リーディング特論Ⅰ	1-2①		1							兼1
	科学英語リーディング特論Ⅱ	1-2②		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	エネルギーと環境	1-2-3 ③~④		2							兼1
	環境と消費	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境研究のフロンティア	1-2-3 ③~④		2							兼1
	移動現象と環境	1-2-3 ③~④		2							兼1
	化学物質と環境	1-2-3 ③~④		2							兼1
	国際環境法Ⅱ	1-2-3 ③~④		2							兼1
	環境ジャーナリズム論	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Global Environmental Policy	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environment and Sustainable Lifestyles	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Introduction to Environmental Accounting	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Environmental Science and Technology	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environmental Economics	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environment and Development in Developing Countries	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Environmental Planning	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Global Forest Conservation Policy	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environmental History	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Strategic Environmental Management	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Sustainable Communities/Projects and Policies	1-2-3 ③~④		2							兼1
	日本の環境法	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境マーケティング	1-2-3 ①~②		2							兼1
	持続可能社会政策論	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境政策形成論	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境と経済制度	1-2-3 ①~②		2							兼1
	生物と環境	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Green Marketing	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Japanese Environmental Law	1-2-3 ①~②		2							兼1
	CSR経営	1-2-3 ③~④		2							兼1
	環境リスクマネジメント	1-2-3 ③~④		2							兼1
	国際環境法	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境工学	1-2-3 ③~④		2							兼1
	途上国の環境と開発	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Environment and Supply Chain Management	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Recycling Systems in Asia	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Global Environment Outlook	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Energy and Environmental Technology	1-2-3 ③~④		2							兼1
	循環型社会形成・廃棄物対策論	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境行政論	1-2-3 ①~②		2							兼1
	環境研究のための統計学	1-2-3 ①~②		2							兼1
	ジェンダーと環境	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Environmental Administration	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Ecology and the Environment	1-2-3 ①~②		2							兼1
	Chemical Substances and the Environment	1-2-3 ③~④		2							兼1
	Climate Change Policy	1-2-3 ③~④		2							兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅰ	1-2-3①		1							兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論Ⅱ	1-2-3②		1							兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論ⅡⅠ	1-2-3③		1							兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	English Writing and Ethics	1・2・3・4 ①～④		1								兼1
	物質界面プロセス特論 I	3・4・5③		1		1						
	物質界面プロセス特論 II	3・4・5④		1		1						
	物質エネルギー材料設計特論 I	3・4・5①		1			1					
	物質エネルギー材料設計特論 II	3・4・5②		1			1					
	環境エネルギーシステム特論 I	3・4・5③		1		1						
	環境エネルギーシステム特論 II	3・4・5④		1		1						
	生物相互作用システム特論 I	3・4・5①		1		1						
	生物相互作用システム特論 II	3・4・5②		1		1						
	土壌生態系機能解析特論 I	3・4・5③		1		1						
	土壌生態系機能解析特論 II	3・4・5④		1		1						
	生物資源循環制御特論 I	3・4・5①		1			1					
	生物資源循環制御特論 II	3・4・5②		1			1					
	バイオセンシング特論 I	3・4・5③		1			1					
	バイオセンシング特論 II	3・4・5④		1			1					
	環境分子動態学特論 I	3・4・5①		1			1					
	環境分子動態学特論 II	3・4・5②		1			1					
小計(97科目)		-	0	166	0	8	8	0	0	0	0	81
キャリア開発プログラム	キャリア開発プログラム I	1①～②	2									兼1
	キャリア開発プログラム II	1①～②	2									兼1
	キャリア展開プログラム I	1③～④		1								兼1
	キャリア展開プログラム II	2①～②		1								兼1
	キャリア展開プログラム III	2③～④		1								兼1
小計(5科目)		-	4	3	0	0	0	0	0	0	0	5
社会交流科目	実践型インターンシップ(企業連携)	1・2・3・4・5 ①～④		2								兼1
	企業共同研究	3・4・5 ①～④		2								兼1
	国際インターンシップ特論事前学習	1③～④、 2・3・4・5①～④		1								兼1
	国際インターンシップ実習 I	1③～④、 2・3・4・5①～④		1								兼1
	国際インターンシップ実習 II	1③～④、 2・3・4・5①～④		1								兼1
	国際インターンシップ特論事後学習	1③～④、 2・3・4・5①～④		1								兼1
	政策提言 I	3・4・5 ①～④		1								兼1
	政策提言 II	3・4・5 ①～④		1								兼1
小計(8科目)		-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	8

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	国際文化比較論及び日本語表現特論 IV	1・2・3・4		1								兼1
	日本語と日本の文化概論 I	1・2・3③		1								兼1
	日本語と日本の文化概論 II	1・2・3④		1								兼1
	Artistic Impression/Expression	2・3 ①～④		1								兼1
	異文化交流特論 I	1・2①		1								兼1
	異文化交流特論 II	1・2②		1								兼1
	科学英語リーディング特論 I	1・2①		1								兼1
	科学英語リーディング特論 II	1・2②		1								兼1
	English Writing and Ethics	1・2・3・4 ①～④		1								兼1
	物質界面プロセス特論 I	3・4・5③		1		1						
	物質界面プロセス特論 II	3・4・5④		1		1						
	物質エネルギー材料設計特論 I	3・4・5①		1			1					
	物質エネルギー材料設計特論 II	3・4・5②		1			1					
	環境エネルギーシステム特論 I	3・4・5③		1		1						
	環境エネルギーシステム特論 II	3・4・5④		1		1						
	生物相互作用システム特論 I	3・4・5①		1		1						
	生物相互作用システム特論 II	3・4・5②		1		1						
	土壌生態系機能解析特論 I	3・4・5③		1		1						
	土壌生態系機能解析特論 II	3・4・5④		1		1						
	生物資源循環制御特論 I	3・4・5①		1			1					
生物資源循環制御特論 II	3・4・5②		1			1						
バイオセンシング特論 I	3・4・5③		1			1						
バイオセンシング特論 II	3・4・5④		1			1						
環境分子動態学特論 I	3・4・5①		1			1						
環境分子動態学特論 II	3・4・5②		1			1						
小計(105科目)		-	0	182	0	8	8	0	0	0	0	89
キャリア開発プログラム	キャリア開発プログラム I	1①～②	2									兼1
	キャリア開発プログラム II	1①～②	2									兼1
	キャリア展開プログラム I	1③～④		1								兼1
	キャリア展開プログラム II	2①～②		1								兼1
	キャリア展開プログラム III	2③～④		1								兼1
小計(5科目)		-	4	3	0	0	0	0	0	0	0	5
	実践型インターンシップ(企業連携)	1・2・3・4・5 ①～④		2								兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究指導	研究指導A	1①~④	2			4	4					兼2
	研究指導B	1③~④、2①~②	2									兼10
	研究指導C	2①~④	2									兼10
	小計(3科目)	-	6	0	0	4	4	0	0	0		22
セミナー・成果発表	研究成果発表 I	1①~②	1			4	4					兼2
	研究成果発表 II	1③~④	1			4	4					兼2
	研究成果発表 III	2①~②	1			4	4					兼2
	研究成果発表 IV	2③~④	1			4	4					兼2
	実践的英語研究成果発表 I	3④	2			4	4					兼2
	実践的英語研究成果発表 II	4④	2			4	4					兼2
	小計(6科目)	-	8	0	0	24	24	0	0	0		12
専門科目	グリーンクリーン食料生産特論 I	3・4・5①~④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論 II	3・4・5①~④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論 III	3・4・5①~④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論 IV	3・4・5①~④		2								兼1
	海外研究留学 I	3・4・5①~④		1								兼1
	海外研究留学 II	3・4・5①~④		1								兼1
	海外研究留学 III	3③~④、4・5①~④		1								兼1
	海外研究留学 IV	3③~④、4・5①~④		1								兼1
小計(8科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0		8	
イノベーション科目	イノベーション推進特別講義 I	3・4・5①~②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義 II	3・4・5①~②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義 III	3・4・5①~②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義 IV	3・4・5③~④		1								兼1
	イノベーション推進特別講義 V	3・4・5③~④		1								兼1
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0		5
	実践的英語プレゼンテーション I	1④	1			4	4					兼2
	実践的英語プレゼンテーション II	2④	1			4	4					兼2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会交流科目	企業共同研究	3・4・5①~④		2								兼1
	国際インターンシップ特論事前学習	1③~④、2・3・4・5①~④		1								兼1
	国際インターンシップ実習 I	1③~④、2・3・4・5①~④		1								兼1
	国際インターンシップ実習 II	1③~④、2・3・4・5①~④		1								兼1
	国際インターンシップ特論事後学習	1③~④、2・3・4・5①~④		1								兼1
	政策提言 I	3・4・5①~④		1								兼1
	政策提言 II	3・4・5①~④		1								兼1
	小計(8科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0		8
研究指導	研究指導A	1①~④	2			4	4					兼2
	研究指導B	1③~④、2①~②	2									兼10
	研究指導C	2①~④	2									兼10
	小計(3科目)	-	6	0	0	4	4	0	0	0		22
セミナー・成果発表	研究成果発表 I	1①~②	1			4	4					兼2
	研究成果発表 II	1③~④	1			4	4					兼2
	研究成果発表 III	2①~②	1			4	4					兼2
	研究成果発表 IV	2③~④	1			4	4					兼2
	実践的英語研究成果発表 I	3④	2			4	4					兼2
	実践的英語研究成果発表 II	4④	2			4	4					兼2
	小計(6科目)	-	8	0	0	24	24	0	0	0		10
専門科目	グリーンクリーン食料生産特論 I	3・4・5①~④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論 II	3・4・5①~④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論 III	3・4・5①~④		2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論 IV	3・4・5①~④		2								兼1
	海外研究留学 I	3・4・5①~④		1								兼1
	海外研究留学 II	3・4・5①~④		1								兼1
	海外研究留学 III	3③~④、4・5①~④		1								兼1
	海外研究留学 IV	3③~④、4・5①~④		1								兼1
小計(8科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0		8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際科目	実践的英語プレゼンテーションⅢ	1・2・3・4・5 (①~④)		1		4	4					兼2
	国際交流ワークショップ	1①~④		2								兼1
	国際ディベート演習	1・2・3・4・5 (③~④)		1								兼1
	国際コミュニケーション演習	1・2・3・4・5 (①~②)		1								兼1
	小計(6科目)	-	2	5	0	12	12	0	0	0	0	9
合計(156科目)			-	18	220	0	44	44	0	0	0	149
修了要件及び履修方法												
標準年限以上在学し、基礎専門科目から6単位以上、基盤科目から6単位以上、キャリア開発プログラムから4単位以上、社会交流科目から4単位以上、研究指導6単位、セミナー・成果発表8単位、専門科目から4単位以上、イノベーション科目から4単位以上、国際科目から4単位以上、あわせて54単位以上を修得し、かつ、Qualifying Examination 2に合格した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、進級過程の厳格化と質保障を担保するため、2年次末に32単位以上修得した者に対して、Qualifying Examination 1を実施する。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
イノベーション科目	イノベーション推進特別講義Ⅰ	3・4・5 (①~②)		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3・4・5 (①~②)		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅲ	3・4・5 (①~②)		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3・4・5 (③~④)		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅴ	3・4・5 (③~④)		1								兼1
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
国際科目	実践的英語プレゼンテーションⅠ	1④	1			4	4					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅡ	2④	1			4	4					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅢ	1・2・3・4・5 (①~④)		1		4	4					兼2
	国際交流ワークショップ	1①~④		2								兼1
	国際ディベート演習	1・2・3・4・5 (③~④)		1								兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅰ	1・2・3・4・5 (①~②)		1								兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅱ	1・2・3・4・5 (①~②)		1								兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅲ	1・2・3・4・5 (①~②)		1								兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅳ	1・2・3・4・5 (①~②)		1								兼1
小計(9科目)	-	2	8	0	12	12	0	0	0	0	12	
合計(173科目)			-	20	244	0	56	56	0	0	0	167
修了要件及び履修方法												
標準年限以上在学し、基礎専門科目から6単位以上、基盤科目から6単位以上、キャリア開発プログラムから4単位以上、社会交流科目から4単位以上、研究指導6単位、セミナー・成果発表8単位、専門科目から4単位以上、イノベーション科目から4単位以上、国際科目から4単位以上、あわせて54単位以上を修得し、かつ、Qualifying Examination 2に合格した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、進級過程の厳格化と質保障を担保するため、2年次末に32単位以上修得した者に対して、Qualifying Examination 1を実施する。												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必	選	自	教	准	助	助	助		
基礎専門科目	物質エネルギーシステム特論I	1・2③	1		1							
	物質エネルギーシステム特論II	1・2④	1		1							
	物質エネルギー設計特論I	1・2①	1		1							
	物質エネルギー設計特論II	1・2②	1		1							
	エネルギーシステム解析特論I	1・2③	1		1							
	エネルギーシステム解析特論II	1・2④	1		1							
	生物情報計測システム特論I	1・2①	1		1							
	生物情報計測システム特論II	1・2②	1		1							
	生態系型環境システム特論I	1・2③	1		1							
	生態系型環境システム特論II	1・2④	1		1							
	生物応答制御科学特論I	1・2①	1		1							
	生物応答制御科学特論II	1・2②	1		1							
	食料安全科学特論I	1・2③	1		1							
	食料安全科学特論II	1・2④	1		1							
	環境モニタリングシステム特論I	1・2①	1		1							
	環境モニタリングシステム特論II	1・2②	1		1							
	食料エネルギーシステム農学基礎I	1・2①~④	1									兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎II	1・2①~④	1									兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎III	1・2①~④	1									兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎IV	1・2①~④	1									兼1
食料エネルギーシステム工学基礎I	1・2①~④	1									兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎II	1・2①~④	1									兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎III	1・2①~④	1									兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎IV	1・2①~④	1									兼1	
小計(24科目)		-	0	24	0	8	8	0	0	0	8	
上智大学大学院地球環境研究科開放科目	上智大学大学院地球環境研究科開放科目I	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目II	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目III	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目IV	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目V	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目VI	1・2・3①~④	2									兼30
	国際文化比較論及び日本語表現特論I	1・2・3①	1									兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論II	1・2・3②	1									兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論III	1・2・3③	1									兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論IV	1・2・3④	1									兼1
	日本語と日本の文化概論I	1・2・3①	1									兼1
	日本語と日本の文化概論II	1・2・3②	1									兼1
	芸術表現	2・3①~④	1									兼1
	異文化交流特論I	1・2①	1									兼1
	異文化交流特論II	1・2②	1									兼1
	科学英語リーディング特論I	1・2①	1									兼1
	科学英語リーディング特論II	1・2②	1									兼1
	英文ライティング・研究倫理	1・2・3・4①~④	2									兼1
	物質界面プロセス特論I	3・4・5①	1		1							
	物質界面プロセス特論II	3・4・5②	1		1							
物質エネルギー材料設計特論I	3・4・5③	1			1							
物質エネルギー材料設計特論II	3・4・5④	1			1							
環境エネルギーシステム特論I	3・4・5⑤	1		1								
環境エネルギーシステム特論II	3・4・5⑥	1		1								
生物相互作用システム特論I	3・4・5⑦	1		1								
生物相互作用システム特論II	3・4・5⑧	1		1								
土壌生態系機能解析特論I	3・4・5⑨	1		1								
土壌生態系機能解析特論II	3・4・5⑩	1		1								
生物資源循環制御特論I	3・4・5⑪	1			1							
生物資源循環制御特論II	3・4・5⑫	1			1							
バイオセンシング特論I	3・4・5⑬	1			1							
バイオセンシング特論II	3・4・5⑭	1			1							
環境分子動態学特論I	3・4・5⑮	1			1							
環境分子動態学特論II	3・4・5⑯	1			1							
小計(34科目)		-	0	41	0	8	8	0	0	0	192	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必	選	自	教	准	助	助	助		
基礎専門科目	物質エネルギーシステム特論I	1・2③	1		1							
	物質エネルギーシステム特論II	1・2④	1		1							
	物質エネルギー設計特論I	1・2①	1		1							
	物質エネルギー設計特論II	1・2②	1		1							
	エネルギーシステム解析特論I	1・2③	1		1							
	エネルギーシステム解析特論II	1・2④	1		1							
	生物情報計測システム特論I	1・2①	1		1							
	生物情報計測システム特論II	1・2②	1		1							
	生態系型環境システム特論I	1・2③	1		1							
	生態系型環境システム特論II	1・2④	1		1							
	生物応答制御科学特論I	1・2①	1							1		
	生物応答制御科学特論II	1・2②	1							1		
	食料安全科学特論I	1・2③	1							1		
	食料安全科学特論II	1・2④	1							1		
	環境モニタリングシステム特論I	1・2①	1							1		
	環境モニタリングシステム特論II	1・2②	1							1		
	食料エネルギーシステム農学基礎I	1・2①~④	1									兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎II	1・2①~④	1									兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎III	1・2①~④	1									兼1
	食料エネルギーシステム農学基礎IV	1・2①~④	1									兼1
食料エネルギーシステム工学基礎I	1・2①~④	1									兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎II	1・2①~④	1									兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎III	1・2①~④	1									兼1	
食料エネルギーシステム工学基礎IV	1・2①~④	1									兼1	
小計(24科目)		-	0	24	0	12	4	0	0	0	8	
上智大学大学院地球環境研究科開放科目	上智大学大学院地球環境研究科開放科目I	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目II	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目III	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目IV	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目V	1・2・3①~④	2									兼30
	上智大学大学院地球環境研究科開放科目VI	1・2・3①~④	2									兼30
	国際文化比較論及び日本語表現特論I	1・2・3①	1									兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論II	1・2・3②	1									兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論III	1・2・3③	1									兼1
	国際文化比較論及び日本語表現特論IV	1・2・3④	1									兼1
	日本語と日本の文化概論I	1・2・3①	1									兼1
	日本語と日本の文化概論II	1・2・3②	1									兼1
	芸術表現	2・3①~④	1									兼1
	異文化交流特論I	1・2①	1									兼1
	異文化交流特論II	1・2②	1									兼1
	科学英語リーディング特論I	1・2①	1									兼1
	科学英語リーディング特論II	1・2②	1									兼1
	英文ライティング・研究倫理	1・2・3・4①~④	2									兼1
	物質界面プロセス特論I	3・4・5①	1		1							
	物質界面プロセス特論II	3・4・5②	1		1							
物質エネルギー材料設計特論I	3・4・5③	1			1							
物質エネルギー材料設計特論II	3・4・5④	1			1							
環境エネルギーシステム特論I	3・4・5⑤	1		1								
環境エネルギーシステム特論II	3・4・5⑥	1		1								
生物相互作用システム特論I	3・4・5⑦	1		1								
生物相互作用システム特論II	3・4・5⑧	1		1								
土壌生態系機能解析特論I	3・4・5⑨	1		1								
土壌生態系機能解析特論II	3・4・5⑩	1		1								
生物資源循環制御特論I	3・4・5⑪	1			1							
生物資源循環制御特論II	3・4・5⑫	1			1							
バイオセンシング特論I	3・4・5⑬	1			1							
バイオセンシング特論II	3・4・5⑭	1			1							
環境分子動態学特論I	3・4・5⑮	1			1							
環境分子動態学特論II	3・4・5⑯	1			1							
小計(24科目)		-	0	41	0	12	4	0	0	0	192	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必	選	自	教	准	助	助	手	
キャリア開発プログラム	キャリア開発プログラムⅠ	1①~②	2								兼1
	キャリア開発プログラムⅡ	1①~②	2								兼1
	キャリア展開プログラムⅠ	1③~④	1								兼1
	キャリア展開プログラムⅡ	2①~②	1								兼1
	キャリア展開プログラムⅢ	2③~④	1								兼1
	小計(5科目)	-	4	3	0	0	0	0	0	0	5
社会交流科目	実践型インターンシップ(企業連携)	1・2・3・4・5 ①~④	2								兼1
	企業共同研究	3・4・5 ①~④	2								兼1
	国際インターンシップ特論事前学習	1③~④、 2・3・4、 7・3・4	1								兼1
	国際インターンシップ実習Ⅰ	1③~④、 2・3・4、 7・3・4	1								兼1
	国際インターンシップ実習Ⅱ	1③~④、 2・3・4、 7・3・4	1								兼1
	国際インターンシップ特論事後学習	1③~④、 2・3・4、 7・3・4	1								兼1
	政策提言Ⅰ	3・4・5 ①~④	1								兼1
	政策提言Ⅱ	3・4・5 ①~④	1								兼1
	小計(8科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	8
研究指導	研究指導A	1①~④	2			4	4				兼2
	研究指導B	1③~④、 4・	2								兼10
	研究指導C	2①~④	2								兼10
	小計(3科目)	-	6	0	0	4	4	0	0	0	22
セミナー・成果発表	研究成果発表Ⅰ	1①~②	1			4	4				兼2
	研究成果発表Ⅱ	1③~④	1			4	4				兼2
	研究成果発表Ⅲ	2①~②	1			4	4				兼2
	研究成果発表Ⅳ	2③~④	1			4	4				兼2
	実践的英語研究成果発表Ⅰ	3④	2			4	4				兼2
	実践的英語研究成果発表Ⅱ	4④	2			4	4				兼2
	小計(6科目)	-	8	0	0	24	24	0	0	0	12
専門科目	グリーンクリーン食料生産特論Ⅰ	3・4・5 ①~④	2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅱ	3・4・5 ①~④	2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅲ	3・4・5 ①~④	2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅳ	3・4・5 ①~④	2								兼1
	海外研究留学Ⅰ	3・4・5 ①~④	1								兼1
	海外研究留学Ⅱ	3・4・5 ①~④	1								兼1
	海外研究留学Ⅲ	3③~④、 4・5①~④	1								兼1
	海外研究留学Ⅳ	3③~④、 4・5①~④	1								兼1
	小計(8科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	8

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必	選	自	教	准	助	助	手	
キャリア開発プログラム	キャリア開発プログラムⅠ	1①~②	2								兼1
	キャリア開発プログラムⅡ	1①~②	2								兼1
	キャリア展開プログラムⅠ	1③~④	1								兼1
	キャリア展開プログラムⅡ	2①~②	1								兼1
	キャリア展開プログラムⅢ	2③~④	1								兼1
	小計(5科目)	-	4	3	0	0	0	0	0	0	5
社会交流科目	実践型インターンシップ(企業連携)	1・2・3・4・5 ①~④	2								兼1
	企業共同研究	3・4・5 ①~④	2								兼1
	国際インターンシップ特論事前学習	1③~④、 2・3・4、 7・3・4	1								兼1
	国際インターンシップ実習Ⅰ	1③~④、 2・3・4、 7・3・4	1								兼1
	国際インターンシップ実習Ⅱ	1③~④、 2・3・4、 7・3・4	1								兼1
	国際インターンシップ特論事後学習	1③~④、 2・3・4、 7・3・4	1								兼1
	政策提言Ⅰ	3・4・5 ①~④	1								兼1
	政策提言Ⅱ	3・4・5 ①~④	1								兼1
	小計(8科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	8
研究指導	研究指導A	1①~④	2					6	2		兼2
	研究指導B	1③~④、 4・	2								兼10
	研究指導C	2①~④	2								兼10
	小計(3科目)	-	6	0	0	6	2	0	0	0	22
セミナー・成果発表	研究成果発表Ⅰ	1①~②	1					6	2		兼2
	研究成果発表Ⅱ	1③~④	1					6	2		兼2
	研究成果発表Ⅲ	2①~②	1					6	2		兼2
	研究成果発表Ⅳ	2③~④	1					6	2		兼2
	実践的英語研究成果発表Ⅰ	3④	2					6	2		兼2
	実践的英語研究成果発表Ⅱ	4④	2					6	2		兼2
	小計(3科目)	-	8	0	0	36	12	0	0	0	12
専門科目	グリーンクリーン食料生産特論Ⅰ	3・4・5 ①~④	2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅱ	3・4・5 ①~④	2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅲ	3・4・5 ①~④	2								兼1
	グリーンクリーン食料生産特論Ⅳ	3・4・5 ①~④	2								兼1
	海外研究留学Ⅰ	3・4・5 ①~④	1								兼1
	海外研究留学Ⅱ	3・4・5 ①~④	1								兼1
	海外研究留学Ⅲ	3③~④、 4・5①~④	1								兼1
	海外研究留学Ⅳ	3③~④、 4・5①~④	1								兼1
	小計(8科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	8

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
イノベーション科目	イノベーション推進特別講義Ⅰ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅲ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3・4・5 ③～④		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅴ	3・4・5 ③～④		1								兼1
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
国際科目	実践的英語プレゼンテーションⅠ	1④	1			4	4					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅡ	2④	1			4	4					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅢ	1・2・ 3・4・5 ①～④	1			4	4					兼2
	国際交流ワークショップ	1①～④	2									兼1
	国際ディベート演習	1・2・ 3・4・5 ③～④	1									兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅰ	1・2・ 3・4・5 ①～②	1									兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅱ	1・2・ 3・4・5 ①～②	1									兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅲ	1・2・ 3・4・5 ①～②	1									兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅳ	1・2・ 3・4・5 ①～②	1									兼1
小計(9科目)	-	2	8	0	12	12	0	0	0	0	12	
合計(102科目)	-	20	103	0	56	56	0	0	0	0	272	
修了要件及び履修方法												
標準年限以上在学し、基礎専門科目から6単位以上、基盤科目から6単位以上、キャリア開発プログラムから4単位以上、社会交流科目から4単位以上、研究指導6単位、セミナー・成果発表8単位、専門科目から4単位以上、イノベーション科目から4単位以上、国際科目から4単位以上、あわせて54単位以上を修得し、かつ、Qualifying Examination 2に合格した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、進級過程の厳格化と質保障を担保するため、2年次末に32単位以上修得した者に対して、Qualifying Examination 1を実施する。												

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教員	講師	助教	助手		
イノベーション科目	イノベーション推進特別講義Ⅰ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅱ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅲ	3・4・5 ①～②		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅳ	3・4・5 ③～④		1								兼1
	イノベーション推進特別講義Ⅴ	3・4・5 ③～④		1								兼1
	小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
国際科目	実践的英語プレゼンテーションⅠ	1④	1			6	2					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅡ	2④	1			6	2					兼2
	実践的英語プレゼンテーションⅢ	1・2・ 3・4・5 ①～④	1			6	2					兼2
	国際交流ワークショップ	1①～④	2									兼1
	国際ディベート演習	1・2・ 3・4・5 ③～④	1									兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅰ	1・2・ 3・4・5 ①～②	1									兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅱ	1・2・ 3・4・5 ①～②	1									兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅲ	1・2・ 3・4・5 ①～②	1									兼1
	国際コミュニケーション演習Ⅳ	1・2・ 3・4・5 ①～②	1									兼1
小計(9科目)	-	2	8	0	18	6	0	0	0	0	12	
合計(102科目)	-	20	103	0	84	28	0	0	0	0	272	
修了要件及び履修方法												
標準年限以上在学し、基礎専門科目から6単位以上、基盤科目から6単位以上、キャリア開発プログラムから4単位以上、社会交流科目から4単位以上、研究指導6単位、セミナー・成果発表8単位、専門科目から4単位以上、イノベーション科目から4単位以上、国際科目から4単位以上、あわせて54単位以上を修得し、かつ、Qualifying Examination 2に合格した上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 なお、進級過程の厳格化と質保障を担保するため、2年次末に32単位以上修得した者に対して、Qualifying Examination 1を実施する。												

- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・4学期制対応のため「食料エネルギーシステム農学基礎Ⅲ」を追加。
- ・4学期制対応のため「食料エネルギーシステム農学基礎Ⅳ」を追加。
- ・4学期制対応のため「食料エネルギーシステム工学基礎Ⅲ」を追加。
- ・4学期制対応のため「食料エネルギーシステム工学基礎Ⅳ」を追加。
- ・教育効果を高めるため「環境経済学Ⅱ」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」に変更。
- ・教育効果を高めるため「Introduction to Environmental Accounting」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」に変更。
- ・教育内容充実のため「日本の環境法」を追加。
- ・教育内容充実のため「環境マーケティング」を追加。
- ・教育内容充実のため「持続可能社会政策論」を追加。
- ・教育内容充実のため「環境政策形成論」を追加。
- ・教育内容充実のため「環境と経済制度」を追加。
- ・教育内容充実のため「生物と環境」を追加。
- ・教育内容充実のため「Green Marketing」を追加。
- ・教育内容充実のため「Japanese Environmental Law」を追加。
- ・教育内容充実のため「CSR経営」を追加。
- ・教育内容充実のため「環境リスクマネジメント」を追加。
- ・教育内容充実のため「国際環境法」を追加。
- ・教育内容充実のため「環境工学」を追加。
- ・教育内容充実のため「途上国の環境と開発」を追加。
- ・教育内容充実のため「Environment and Supply Chain Management」を追加。
- ・教育内容充実のため「Recycling Systems in Asia」を追加。
- ・教育内容充実のため「Global Environment Outlook」を追加。
- ・教育内容充実のため「Energy and Environmental Technology」を追加。
- ・教育効果を高めるため「Artistic Impression/Expression」の配当年次を「2・3・4・5①～④」から「2・3①～④」に変更。
- ・教育効果を高めるため「科学英語リーディング特論Ⅰ」の配当年次を「1・2③」から「1・2①」に変更。
- ・教育効果を高めるため「科学英語リーディング特論Ⅱ」の配当年次を「1・2④」から「1・2②」に変更。
- ・教育効果を高めるため「English Writing and Ethics」の配当年次を「2①～②」から「1・2・3・4①～④」に変更。
- ・4学期制対応のため「物質界面プロセス特論」を「物質界面プロセス特論Ⅰ」に変更。
- ・4学期制対応のため「物質界面プロセス特論Ⅱ」を追加。

【平成28年度】

- ・教育効果を高めるため「International Environmental Treaties」の配当年次を「1・2・3①～②」から「1・2・3③～④」に変更。
- ・教育効果を高めるため「環境と消費」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」に変更。
- ・教育効果を高めるため「Environment and Development in Developing Countries」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」に変更。
- ・教育効果を高めるため「国際環境法」の配当年次を「1・2・3③～④」から「1・2・3①～②」に変更。
- ・教育内容の充実のため「循環型社会形成・廃棄物対策論」を追加。
- ・教育内容の充実のため「環境行政論」を追加。
- ・教育内容の充実のため「環境研究のための統計学」を追加。
- ・教育内容の充実のため「ジェンダーと環境」を追加。
- ・教育内容の充実のため「Environmental Administration」を追加。
- ・教育内容の充実のため「Ecology and the Environment」を追加。
- ・教育内容の充実のため「Chemical Substances and the Environment」を追加。
- ・教育内容の充実のため「Climate Change Policy」を追加。
- ・教育内容の充実及び関連科目の追加のため「国際コミュニケーション演習」を「国際コミュニケーション演習Ⅰ」に変更。
- ・教育内容の充実のため「国際コミュニケーション演習Ⅱ」を追加。
- ・教育内容の充実のため「国際コミュニケーション演習Ⅲ」を追加。
- ・教育内容の充実のため「国際コミュニケーション演習Ⅳ」を追加。

【平成29年度】

- ・講義の実態に合わせるため上智大学大学院地球環境科学科開放科目77科目の名称を「上智大学大学院地球環境科学科開放科目Ⅰ～Ⅵ」に変更。
- ・講義の実態に合わせるため授業科目の名称を「Artstic Impression/Expression」から「芸術表現」に変更し、単位数を1単位から2単位に変更。
- ・講義の実態に合わせるため授業科目の名称を「English Writing and Ethics」から「英文ライティング・研究倫理」に変更。

【平成30年度】

- ・職位の変更により、「物質エネルギー設計特論Ⅰ」及び「物質エネルギー設計特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・講義の実態に合わせるため授業科目の名称を「生物情報計測システム特論Ⅰ」から「生体情報計測システム特論Ⅰ」に変更。
- ・講義の実態に合わせるため授業科目の名称を「生物情報計測システム特論Ⅱ」から「生体情報計測システム特論Ⅱ」に変更。
- ・職位の変更により、「生体情報計測システム特論Ⅰ」及び「生体情報計測システム特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「物質エネルギー材料設計特論Ⅰ」及び「物質エネルギー材料設計特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「バイオセンシング特論Ⅰ」及び「バイオセンシング特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「研究指導A」、「研究指導B」、「研究成果発表Ⅰ」、「研究成果発表Ⅱ」、「研究成果発表Ⅲ」、「研究成果発表Ⅳ」、「実践的英語研究成果発表Ⅰ」、「実践的英語研究成果発表Ⅱ」、「実践的英語プレゼンテーションⅠ」、「実践的英語プレゼンテーションⅡ」及び「実践的英語プレゼンテーションⅢ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4」から「教授6、准教授2」に変更。

【令和元年度】

- ・職位の変更により、「生物応答制御科学特論Ⅰ」、「生物応答制御科学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・特任教員の任期満了により、「芸術表現」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「生物応答制御科学特論Ⅰ」及び「生物応答制御科学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため「食料エネルギーシステム農学特論Ⅰ」、「食料エネルギーシステム農学特論Ⅱ」、「食料エネルギーシステム工学特論Ⅰ」、「食料エネルギーシステム工学特論Ⅱ」を追加。
- ・教育効果を高めるため「キャリア開発プログラムⅠ」の配当年次を「1①～②」から「1①」に、単位数を2から1に変更。
- ・教育効果を高めるため「キャリア開発プログラムⅡ」の配当年次を「1①～②」から「1①」に、単位数を2から1に変更。専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため「キャリア開発プログラムⅢ」を追加。
- ・教育効果を高めるため「キャリア開発プログラムⅣ」を追加。
- ・特任教員の任期満了により「キャリア展開プログラムⅠ」、「キャリア展開プログラムⅡ」、「キャリア展開プログラムⅢ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・特任教員の任期満了により「実践型インターンシップ（企業連携）」、「国際インターンシップ特論事前学習」、「国際インターンシップ実習Ⅰ」、「国際インターンシップ実習Ⅱ」、「国際インターンシップ特論事後学習」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・特任教員の任期満了により「政策提言Ⅰ」、「政策提言Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・職位の変更により、「研究指導A」、「研究成果発表Ⅰ」、「研究成果発表Ⅱ」、「研究成果発表Ⅲ」、「研究成果発表Ⅳ」、「実践的英語研究成果発表Ⅰ」、「実践的英語研究成果発表Ⅱ」、「実践的英語プレゼンテーションⅠ」、「実践的英語プレゼンテーションⅡ」及び「実践的英語プレゼンテーションⅢ」の専任教員等の配置を「教授6、准教授2」から「教授7、准教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるために、「海外研究留学Ⅰ」、「海外研究留学Ⅱ」、「海外研究留学Ⅲ」、「海外研究留学Ⅳ」の単位数を1から2に変更。「海外研究留学Ⅱ」の配当年次を「3・4・5①～④」から「3②～④4・5①～④」に変更。
- ・教育効果を高めるために、「国際コミュニケーション演習Ⅰ」、「国際コミュニケーション演習Ⅱ」、「国際コミュニケーション演習Ⅲ」、「国際コミュニケーション演習Ⅳ」を「国際コミュニケーション演習Ⅰ」及び「国際コミュニケーション演習Ⅱ」に統合し、単位数を各1から4に変更。「国際コミュニケーション演習Ⅱ」の配当年次を「1・2・3・4・5①～②」から「1・2・3・4・5①～④」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13	119	0	132	13	89	0	102	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[0]	[-30]	[0]	[-30]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{132} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計						
	校舎敷地	237,007㎡	0㎡	0㎡	237,007㎡						
	運動場用地	46,341㎡	0㎡	0㎡	46,341㎡						
	小 計	283,348㎡	0㎡	0㎡	283,348㎡						
	そ の 他	180,899㎡	0㎡	0㎡	180,899㎡						
	合 計	464,247㎡	0㎡	0㎡	464,247㎡						
(2) 校舎	専 用	131,488㎡ 131,288㎡ 128,183㎡	0㎡	0㎡	131,488㎡ 131,288㎡ 128,183㎡	平成30年8月府中地区 5号館改修のため(元)					
	(131,488㎡) (131,288㎡) (128,183㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(131,488㎡) (131,288㎡) (128,183㎡)							
(3) 教室等	講義室	83 77室	演習室	43 45室	実験実習室	571 513 503室	情報処理学習施設	10室 (補助職員 3人)	語学学習施設	0室 (補助職員 0人)	建物の一部改修のため(元)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数						
	生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻				8 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル							
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点					
	生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム 科学専攻	530,482 [176,338] 543,273 [178,964] (526,347 [175,726]) (527,063 [175,906])	14,174 [7,038] 14,178 [7,031] (14,143 [7,022]) (14,135 [7,025])	7,043 [6,402] (7,226 [7,155]) (7,128 [7,058])	2,992 2,998 (2,852) (2,937)	0 (0) (0)	0 (0) (0)	大学全体での共用分 予算、電子ジャーナル 契約内容の変更により 図書等の購入計画を 見直したため(元)			
計	530,482 [176,338] 543,273 [178,964] (526,347 [175,726]) (527,063 [175,906])	14,174 [7,038] 14,178 [7,031] (14,143 [7,022]) (14,135 [7,025])	7,043 [6,402] (7,226 [7,155]) (7,128 [7,058])	2,992 2,998 (2,852) (2,937)	0 (0) (0)	0 (0) (0)					
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数						
	6,907㎡		948 897 882		544,889		大学全体、図書スペース の利用方法を見直したため(元)				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	2,477㎡		テニスコート		武道場		ゴルフ練習場ほか		大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円			
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
学生納付金以外の維持方法の概要											

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京農工大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科の)	開設年度	所在地	
	年	人	3年次人	人		倍	年度	年度	年度	
農学部										
生物生産科学科	4	57	—	228	学士(農学)	1.05	—	平成16年度	東京都府中市幸町三丁目5番8号	
応用生物科学科	4	71	—	284	学士(農学)	1.07	—	平成16年度	同上	
環境資源科学科	4	61	—	244	学士(農学)	1.04	—	平成16年度	同上	
地域生態システム学科	4	76	—	304	学士(農学)	1.05	—	平成16年度	同上	
共同獣医学科	4	35	—	210	学士(獣医学)	1.11	—	平成24年度	同上	
獣医学科	4	—	—	—	学士(獣医学)	—	—	平成16年度	同上	平成24年度より学生募集停止
工学部										
生命工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成16年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	令和元年度より学生募集停止
応用分子化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
有機材料化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
化学システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
物理システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
生命工学科	4	81	11	346	学士(工学)	1.03	—	令和元年度	同上	
生体医用システム工学	4	56	6	236	学士(工学)	1.03	—	令和元年度	同上	
応用化学科	4	81	10	344	学士(工学)	1.04	—	令和元年度	同上	
化学物理工学科	4	81	7	338	学士(工学)	1.11	—	令和元年度	同上	
機械システム工学科	4	102	16	440	学士(工学)	1.00	—	令和元年度	同上	
知能情報システム工学	4	120	20	520	学士(工学)	1.01	—	令和元年度	同上	
大学全体	—	821	70	3494	—	—	—	—	—	

大学の名称	東京農工大学大学院								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科の)	開設年度	所在地	
	年	人	3年次	人		倍	年度	年度	年度	
工学府（博士前期課程）										
生命工学専攻	2	58	—	116	修士（工学又は学術）	1.08	—	平成16年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	
応用化学専攻	2	78	—	156	修士（工学又は学術）	1.03	—	平成16年度	同上	
機械システム工学専攻	2	70	—	140	修士（工学又は学術）	1.01	—	平成16年度	同上	
物理システム工学専攻	2	26	—	52	修士（工学又は学術）	1.07	—	平成16年度	同上	
電気電子工学専攻	2	66	—	132	修士（工学又は学術）	1.00	—	平成16年度	同上	
情報工学専攻	2	42	—	84	修士（工学又は学術）	1.00	—	平成18年度	同上	
工学府（博士後期課程）										
生命工学専攻	3	14	—	42	博士（工学又は学術）	0.87				
応用化学専攻	3	14	—	42	博士（工学又は学術）	0.97				
機械システム工学専攻	3	13	—	39	博士（工学又は学術）	1.33				
電子情報工学専攻	3	15	—	57	博士（工学又は学術）	0.90				
工学府（博士課程）										
共同サステイナビリティ研究専攻	3	4	—	12	博士（学術）	1.00	—	令和元年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	
工学府（専門職学位課程）										
産業技術専攻	2	40	—	80	技術経営修士（専門職）	1.01	—	平成23年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号	
農学府（修士課程）										
生物生産科学専攻	2	—	—	—	修士（農学又は学術）	—	—	平成16年度	東京都府中市幸町三丁目5番8号	令和元年度より学生募集停止
共生持続社会学専攻	2	—	—	—	修士（農学又は学術）	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
応用生命化学専攻	2	—	—	—	修士（農学又は学術）	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
生物制御科学専攻	2	—	—	—	修士（農学又は学術）	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
環境資源物質科学専攻	2	—	—	—	修士（農学又は学術）	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
物質循環環境科学専攻	2	—	—	—	修士（農学又は学術）	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
自然環境保全学専攻	2	—	—	—	修士（農学又は学術）	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
農業環境工学専攻	2	—	—	—	修士（農学又は学術）	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
国際環境農学専攻	2	—	—	—	修士（農学又は学術）	—	—	平成16年度	同上	令和元年度より学生募集停止
農学専攻	2	174	—	348	修士（農学又は学術）	1.12	—	令和元年度	同上	
農学府（博士課程）										
共同獣医学専攻	4	10	—	40	博士（獣医学）	1.45	—	平成30年度	東京都府中市幸町三丁目5番8号	

生物システム応用科学府 (博士前期課程)												
生物機能システム科学専攻	2	59	—	118	修士(工学、農学又は学術)	1.06	—	平成27年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号			
生物システム応用科学専攻	2	—	—	—	修士(工学、農学又は学術)	—	—	平成16年度	同上	平成27年度より学生募集停止		
生物システム応用科学府 (博士後期課程)												
生物機能システム科学専攻	3	12	—	36	博士(工学、農学又は学術)	1.30	—	平成27年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号			
生物システム応用科学専攻	3	—	—	—	博士(工学、農学又は学術)	—	—	平成16年度	同上	平成27年度より学生募集停止		
生物システム応用科学府 (一貫制博士課程)												
食料エネルギーシステム科学専攻	5	10	—	50	博士(工学、農学又は学術)	1.12	—	平成27年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号			
生物システム応用科学府 (博士課程)												
共同先進健康科学専攻	3	6	—	18	博士(生命科学)	0.60	—	平成22年度	東京都小金井市中町二丁目24番16号			
連合農学研究科(博士課程)												
生物生産科学専攻	3	15	—	45	博士(農学又は学術)	0.93	—	平成19年度	東京都府中市幸町三丁目5番8号			
応用生命科学専攻	3	10	—	30	博士(農学又は学術)	0.46	—	平成19年度	同上			
環境資源共生科学専攻	3	10	—	30	博士(農学又は学術)	1.10	—	平成19年度	同上			
農業環境工学専攻	3	4	—	12	博士(農学又は学術)	1.50	—	平成19年度	同上			
農林共生社会科学専攻	3	6	—	18	博士(農学又は学術)	1.05	—	平成19年度	同上			
大学院	—	760	—	1697	—	—	—	—	—			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	職名	職名	職名	職名	職名	職名
担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任 教授	神谷秀博 (56) <平成27年4月> 工学博士	神谷秀博 (56) <平成27年4月> 工学博士	神谷秀博 (57) <平成27年4月> 工学博士	神谷秀博 (58) <平成27年4月> 工学博士	神谷秀博 (59) <平成27年4月> 工学博士	神谷秀博 (60) <平成27年4月> 工学博士
専任 教授	富永洋一 (42) <平成27年4月> 博士(工学)	富永洋一 (42) <平成27年4月> 博士(工学)	富永洋一 (43) <平成27年4月> 博士(工学)	富永洋一 (44) <平成27年4月> 博士(工学)	富永洋一 (46) <平成27年4月> 博士(工学)	富永洋一 (46) <平成27年4月> 博士(工学)
専任 教授	秋澤淳 (53) <平成27年4月> 博士(工学)	秋澤淳 (53) <平成27年4月> 博士(工学)	秋澤淳 (54) <平成27年4月> 博士(工学)	秋澤淳 (55) <平成27年4月> 博士(工学)	秋澤淳 (56) <平成27年4月> 博士(工学)	秋澤淳 (56) <平成27年4月> 博士(工学)
専任 教授	佐藤令一 (58) <平成27年4月> 農学博士	佐藤令一 (58) <平成27年4月> 農学博士	佐藤令一 (59) <平成27年4月> 農学博士	佐藤令一 (60) <平成27年4月> 農学博士	佐藤令一 (61) <平成27年4月> 農学博士	佐藤令一 (62) <平成27年4月> 農学博士
専任 教授	豊田剛己 (49) <平成27年4月> 博士(農学)	豊田剛己 (49) <平成27年4月> 博士(農学)	豊田剛己 (50) <平成27年4月> 博士(農学)	豊田剛己 (51) <平成27年4月> 博士(農学)	豊田剛己 (52) <平成27年4月> 博士(農学)	豊田剛己 (53) <平成27年4月> 博士(農学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	熊谷 日登美 (54) <平成27年4月> 農学博士	兼任	講師	熊谷 日登美 (54) <平成27年4月> 農学博士	兼任	講師	熊谷 日登美 (55) <平成27年4月> 農学博士	兼任	講師	熊谷 日登美 (57) <平成27年4月> 農学博士	兼任	講師	熊谷 日登美 (58) <平成27年4月> 農学博士
		食料エネルギーシステム 農学基礎I			食料エネルギーシステム 農学基礎I			食料エネルギーシステム 農学基礎I			食料エネルギーシステム 農学基礎I			食料エネルギーシステム 農学基礎I
兼任	講師	櫻井 武司 (53) <平成27年4月> Ph.D	兼任	講師	櫻井 武司 (53) <平成27年4月> Ph.D	兼任	講師	櫻井 武司 (54) <平成27年4月> Ph.D	兼任	講師	櫻井 武司 (55) <平成27年4月> Ph.D	兼任	講師	櫻井 武司 (56) <平成27年4月> Ph.D
		研究指導B			研究指導B			研究指導B			研究指導B			研究指導B
兼任	講師	國澤 純 (40) <平成27年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	國澤 純 (40) <平成27年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	國澤 純 (41) <平成27年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	國澤 純 (42) <平成27年4月> 博士(薬学)	兼任	講師	國澤 純 (43) <平成27年4月> 博士(薬学)
		研究指導B			研究指導B			研究指導B			研究指導B			研究指導B
兼任	講師	池口 徹 (45) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	講師	池口 徹 (46) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	講師	池口 徹 (47) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	講師	池口 徹 (48) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	講師	池口 徹 (49) <平成27年4月> 博士(工学)
		研究指導B			研究指導B			研究指導B			研究指導B			研究指導B
兼任	講師	S. R. Waldvogel (42) <平成27年4月> ph. D	兼任	講師	S. R. Waldvogel (42) <平成27年4月> ph. D	兼任	講師	S. R. Waldvogel (43) <平成27年4月> ph. D	兼任	講師	S. R. Waldvogel (44) <平成27年4月> ph. D	兼任	講師	S. R. Waldvogel (45) <平成27年4月> ph. D
		研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C
兼任	講師	宮武 健治 (45) <平成27年4月> 工学博士	兼任	講師	宮武 健治 (45) <平成27年4月> 工学博士	兼任	講師	宮武 健治 (46) <平成27年4月> 工学博士	兼任	講師	宮武 健治 (47) <平成27年4月> 工学博士	兼任	講師	宮武 健治 (48) <平成27年4月> 工学博士
		研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C
兼任	講師	土肥 多恵子 (49) <平成27年4月> 医学博士	兼任	講師	土肥 多恵子 (49) <平成27年4月> 医学博士	兼任	講師	土肥 多恵子 (50) <平成27年4月> 医学博士	兼任	講師	土肥 多恵子 (51) <平成27年4月> 医学博士	兼任	講師	土肥 多恵子 (52) <平成27年4月> 医学博士
		研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C
兼任	講師	坂井 真紀子 (34) <平成27年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	坂井 真紀子 (34) <平成27年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	坂井 真紀子 (35) <平成27年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	坂井 真紀子 (36) <平成27年4月> 博士(社会学)	兼任	講師	坂井 真紀子 (37) <平成27年4月> 博士(社会学)
		研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C
兼任	講師	池本 良子 (57) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	講師	池本 良子 (57) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	講師	池本 良子 (58) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	講師	池本 良子 (59) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	講師	池本 良子 (60) <平成27年4月> 博士(工学)
		研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C
兼任	講師	多田 安臣 (36) <平成27年4月> 博士(農学)	兼任	講師	多田 安臣 (36) <平成27年4月> 博士(農学)	兼任	講師	多田 安臣 (37) <平成27年4月> 博士(農学)	兼任	講師	多田 安臣 (38) <平成27年4月> 博士(農学)	兼任	講師	多田 安臣 (39) <平成27年4月> 博士(農学)
		研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C			研究指導C
兼任	教授	織 朱 實 (52) <平成27年4月> 法学博士	兼任	教授	織 朱 實 (52) <平成27年4月> 法学博士	兼任	教授	織 朱 實 (53) <平成27年4月> 法学博士	兼任	教授	織 朱 實 (54) <平成27年4月> 法学博士	兼任	教授	織 朱 實 (55) <平成27年4月> 法学博士
		Environmental Law 環境法Ⅱ International Comparative Studies for Environmental Policies 日本の環境法 Japanese Environmental Law 環境リスクマネジメント Recycling Systems in Asia			Environmental Law 環境法Ⅱ International Comparative Studies for Environmental Policies 日本の環境法 Japanese Environmental Law 環境リスクマネジメント Recycling Systems in Asia			Environmental Law 環境法Ⅱ International Comparative Studies for Environmental Policies 日本の環境法 Japanese Environmental Law 環境リスクマネジメント Recycling Systems in Asia			Environmental Law 環境法Ⅱ International Comparative Studies for Environmental Policies 日本の環境法 Japanese Environmental Law 環境リスクマネジメント Recycling Systems in Asia			Environmental Law 環境法Ⅱ International Comparative Studies for Environmental Policies 日本の環境法 Japanese Environmental Law 環境リスクマネジメント Recycling Systems in Asia
兼任	講師	木暮 啓 (60) <平成27年4月>	兼任	講師	木暮 啓 (60) <平成27年4月>	兼任	講師	木暮 啓 (61) <平成27年4月>	兼任	講師	木暮 啓 (62) <平成27年4月>	兼任	講師	木暮 啓 (63) <平成27年4月>
		環境マーケティング論			環境マーケティング論			環境マーケティング論			環境マーケティング論			環境マーケティング論
兼任	准教授	FRANK Bjoern (35) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	FRANK Bjoern (36) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	FRANK Bjoern (37) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	FRANK Bjoern (38) <平成27年4月> 博士(工学)	兼任	准教授	FRANK Bjoern (39) <平成27年4月> 博士(工学)
		Environment and Sustainable Lifestyles 環境マーケティング Green Marketing CSR経営 Environment and Supply Chain Management			Environment and Sustainable Lifestyles 環境マーケティング Green Marketing CSR経営 Environment and Supply Chain Management			Environment and Sustainable Lifestyles 環境マーケティング Green Marketing CSR経営 Environment and Supply Chain Management			Environment and Sustainable Lifestyles 環境マーケティング Green Marketing CSR経営 Environment and Supply Chain Management			Environment and Sustainable Lifestyles 環境マーケティング Green Marketing CSR経営 Environment and Supply Chain Management

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等			
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
兼任	講師	BEHERA Swadhin (50) <平成27年4月>	兼任	講師	BEHERA Swadhin (50) <平成27年4月>	兼任	講師	BEHERA Swadhin (51) <平成27年4月>	兼任	講師	BEHERA Swadhin (52) <平成27年4月>	兼任	講師	BEHERA Swadhin (53) <平成27年4月>			
		Ocan and Environment			Ocan and Environment			Ocan and Environment			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ			
					岡崎 雄太 (39) <平成28年4月>			岡崎 雄太 (40) <平成28年4月>			岡崎 雄太 (41) <平成28年4月>						
			兼任	准教授	環境行政論 Environmental Administration Climate Change Policy			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ						
兼任	教授	平尾 桂子 (56) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	平尾 桂子 (56) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	平尾 桂子 (57) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	平尾 桂子 (58) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	平尾 桂子 (59) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任	教授	平尾 桂子 (60) <平成28年4月> 博士(社会学)
		環境社会学			環境社会学 環境研究のための統計学 ジェンダーと環境			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ			
					田中 嘉成 (53) <平成28年4月> 博士(農学)			田中 嘉成 (54) <平成28年4月> 博士(農学)			田中 嘉成 (55) <平成28年4月> 博士(農学)			田中 嘉成 (56) <平成28年4月> 博士(農学)			
			兼任	准教授	Ecology and the Environment Chemical Substances and the Environment			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ			上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅰ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅱ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅲ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅳ 上智大学大学院地球環境研究科開放科目Ⅴ			

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成27年度】

該当なし

【平成28年度】

該当なし

【平成29年度】

該当なし

【平成30年度】

該当なし

【令和元年度】

該当なし

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
4	4	0	0	8	7	1	0	0	8
(4)	(4)	(0)	(0)	(8)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
7	1	8			7	1	8		
(6)	(2)	(8)			(6)	(2)	(8)		
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
7	1	0	0	8	7	1	0	0	8
[3]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[3]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
7	1	8			7	1	8		
[3]	[Δ1]	[0]			[3]	[Δ1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{8}{8} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
設 置 時 (2 6 年)	<p>食料エネルギーシステム科学専攻について、食料エネルギーシステムの名前から食料由来のエネルギー生産を課題とするように受け取られやすいが、設置の目的で、「食の生産性やエネルギー依存形態を変革する構想力と実践力を有する国際的なリーダーを養成することを目標」に掲げているため、より幅広い分野を示すような名称を再考することが望ましい。</p> <p>食料エネルギーシステム科学専攻について、3名の教員（主指導教員及び副指導教員）から研究指導を受けるとなっているが、教員数と学生数から見て、想定通りに運用できるか懸念が残るため、教員組織の充実に努めることが望ましい。</p>	留意事項	<p>本専攻の名称については、本学としても議論を重ね、食料、エネルギー、それを取り巻く環境の相互不可分の関係を理解し、人類生存の究極課題に取り組む専攻を端的に表す名称として、食料エネルギーシステム科学専攻としたところである。</p> <p>ただし、指摘のとおり狭義に受け取られやすいことから、学生受入れに当たって、本研究科におけるアドミッションポリシー、ディプロマポリシー、募集要項等により、設置の趣旨・目的等を理解していただくよう周知</p> <p>本専攻では、多角的な視野の形成と複合領域の技術的理解を達成するため、本専攻以外の教員を副指導教員として配置している。</p> <p>この教育体制については、本専攻の前身である博士課程リーディングプログラムにおいて実績を有しているところであり、そのための教員組織として構築した「実践型人材養成拠点」（農学系、工学系の教員28名）を本専攻設置後も継続することとしている。</p> <p>このため、本構想の教員組織において、本専攻の目的を達成することは十分に可能と考えているが、御指摘を踏まえ、教員組織の充実に努めている。</p>	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (2 8 年)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (2 9 年)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (3 0 年)	該当なし			

設置計画履行状況 調査時 (元年)	該当なし			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生物システム応用科学府 食料エネルギーシステム科学専攻（一貫制博士課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 グローバル教育院で起案、全学「教育・学生生活委員会」で審議して実施を決定 [別添資料1]</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月1回</p> <p>c 委員会の審議事項等 FDの目的、内容、実施方法について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任教員に対する自校理解、授業方法の研修。 ・英語で講義を行う教員向けの研修 ・「アクティブ・ラーニング」に関する説明会。 ・「障害者差別解消法」の解説と障害のある学生に対する支援。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の教員対象の内容の場合は、教授会の開催前後の時間で実施。 ・特定の教員対象の研修については、該当教員を招集して実施。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教授会の開催前後の時間で実施した場合は、全学のほとんどの教員が聴講し、周知できた。 ・特定の教員対象の研修については、グループワーク等の参加型研修を行い、参加者からは好評を得た。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き積極的にFDを推進していく。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 前学期、後学期の2回実施している。（一部、4学期制に対応している）</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 集計した結果については、担当科目の教員にフィードバックを行い、必要に応じて個別対応を行っている。 学生に対しては全体の集計結果をホームページで公開している。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。また、今後も設置の趣旨及び目的の達成に向けて教育研究活動を実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30事業年度に係る業務の実績に関する報告書〔中期目標・中期計画の進行状況等に係る自己点検・評価書〕を、平成31年11月に公表予定。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開（予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・2020年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年8月1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

○東京農工大学グローバル教育院運営規則

(平成30年4月1日グ教規則第1号)

改正 平成31年4月1日グ教規則第1号

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人東京農工大学組織運営規則第5条の2及び第8条に基づき、東京農工大学グローバル教育院(以下「教育院」という。)の組織及び運営について必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 教育院は、国際教育交流に関する全学的事業の推進及び支援、教養教育の企画及び実施、入試戦略及び支援、その他全学に係る教育に関する業務を実施するための組織として、東京農工大学での教育活動を通して、農学又は工学の専門性を持ち、教養豊かで国際社会において活躍できる人材を育成することを目的とする。

(事業)

第3条 教育院は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 国際教育交流プログラムの企画・運営・実施、海外の大学との国際共同プログラムの確立及び海外の姉妹校との連携強化の取組に関すること。
- (2) グローバル教養教育の方針策定・企画・運営・実施、学生の英語力向上支援、教育評価及びファカルティディベロップメント(FD)の実施に関すること。
- (3) 入試出題管理体制の支援、入試に関する諸事項の調査・解析、入試方法の改善・立案並びに入試広報・国際広報の企画及び実施に関すること。
- (4) その他学長又はグローバル教育院長(以下「教育院長」という。)が必要と認めた事業に関すること。

(教育院長)

第4条 教育院長は、教育院の業務を掌理する。

- 2 教育院長は、副学長又は教育職員の中から学長が指名する者をもって充てる。
- 3 教育院長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、教育院長の任期の末日は、当該教育院長を指名する学長の任期の末日以前でなければならない。
- 4 教育院長が任期の途中で欠けた場合には、後任の教育院長の任期は、前任者の残任期間とする。

(副院長)

第5条 教育院に、グローバル教育院副院長(以下「副院長」という。)を置く。

- 2 副院長は、副学長又は教育職員の中から学長が指名する者をもって充てる。
- 3 副院長は、教育院長を補佐し、教育院長に事故あるときは、その職を代行する。
- 4 副院長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、その任期の末日は、当該副院長を指名する学長の任期の末日以前でなければならない。

5 副院長が任期の途中で欠けた場合には、後任の副院長の任期は、前任者の残任期間とする。

(専任教員)

第6条 教育院に、第3条各号に掲げる事業を実施するため、専任教員を置く。

(兼務教員)

第7条 教育院に、専任教員と協力して第3条各号に掲げる事業を実施するため、農学研究院又は工学研究院を本務としたまま教育院を兼ねて務める教員(以下「兼務教員」という。)を置く。

2 兼務教員は、農学研究院又は工学研究院の推薦を受け、次条に規定するグローバル教育院運営委員会の議を経て、学長が発令する。

3 兼務教員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 兼務教員が任期の途中で欠けた場合には、後任の兼務教員の任期は、次条に規定するグローバル教育院運営委員会が個別に定めるものとする。

(運営委員会)

第8条 教育院の事業の運営のため、グローバル教育院運営委員会(以下「運営委員会」という。)を置き、次の各号に掲げる事項を審議する。

(1) 教育院の組織に関する事項

(2) 教育院の人事に関する事項

(3) 教育院の予算に関する事項

(4) 教育院の計画及び評価に関する事項

(5) その他教育院長が必要と認めた事項

2 運営委員会は、次の各号に掲げる委員で構成する。

(1) 教育院長

(2) 副院長

(3) 次条第2項に規定する部会長

(4) 第10条第2項に規定するグループ長

(5) その他教育院長が必要と認めた者

3 運営委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は、教育院長をもって充て、副委員長は、副院長をもって充てる。

4 委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。ただし、委員長が必要と認めた場合は、副院長が委員長を代理し、運営委員会を招集し、その議長となることができる。

5 運営委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。

6 運営委員会の議事は、別に定めのある事項を除き、出席委員の過半数の賛成をもって決するものとする。

7 運営委員会は、必要に応じ、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(部会)

第9条 教育院に、第3条各号に掲げる事業を部局等と連携して企画・立案するため、次の各号に掲げる部会(以下「部会」という。)を置く。

- (1) 国際教育交流プログラム部会
- (2) 教養・専門基礎教育部会
- (3) 入試検討部会

2 部会に、部会長を置く。

3 部会長は、兼務教員又は専任教員の中から教育院長が指名する。

4 部会について必要な事項は、別に定める。

(グループ)

第10条 教育院に、第3条各号に掲げる事業を実施するため、専任教員が所属する次の各号に掲げるグループ(以下「グループ」という。)を置く。

- (1) 海外リエゾングループ
- (2) グローバル教養教育グループ
- (3) アドミッション・専門基礎教育グループ

2 グループに、グループ長を置く。

3 グループ長は、専任教員の中から教育院長が指名する。

4 グループについて必要な事項は、別に定める。

(選考委員会)

第11条 教育院に、第8条第1項第2号に基づく教育院の専任教員の選考について審議するため、選考委員会を置く。

2 前項に規定する選考委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第12条 教育院に関する事務は、関係部局の協力を得て、学務課及び入試企画課において処理する。

(雑則)

第13条 この規則に定めるもののほか、教育院の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則(平成31年4月1日グ教規則第1号)

この規則は、平成31年4月1日から施行する。